

Q&A 入試について

コース間の転科合格について

- Q. 難関クラスが不合格の場合、S特進クラス・特進クラス・準特進クラス・進学クラスでの合格はありますか。
- A. 難関クラスが不合格でもS特進クラス・特進クラス・準特進クラス・進学クラスの合格基準に達していれば、自動的にS特進クラス・特進クラス・準特進クラス・進学クラスの合格として発表されます。

調査書の記入に関して

- Q. 調査書は学校で指定したのがありますか。
- A. ありません。福岡県私学協会統一様式のものを使用してください。
統一様式の調査書は[県私学協会のページ](#)からダウンロードできます。
- Q. 学業成績は相対評価ですか、絶対評価ですか。
- A. 絶対評価のみを記載してください。ただし、県外で一方の評価方式しか出していない場合は、それで結構です。
- Q. 県外から受験しますが、調査書はどの様式にしたらよいのですか。
- A. それぞれの県の様式があれば、それを使用して下さい。統一様式が無い場合は、中学校独自のものです。

特待生制度や特進コースについて

- Q. 特待生は2・3年次で入れ替えはありますか。
- A. A特待生・B特待生ともに1年間ごとの見直しが行われます。S特進クラスや特進クラスや準特進クラスの生徒も入学後、努力しだいで難関クラスへのステップアップが可能なため、特待生に選抜されるチャンスがあります。
※生活指導上の問題がある場合などには、特待生としての資格を停止することがあります。
- Q. 特待生は難関クラス合格者の中から選抜されるのですか。
- A. そうとは限りません。S特進クラス・特進クラス・準特進クラス・進学クラスを希望した生徒でも採用基準に達していれば、選抜されます。
- Q. 難関クラス・S特進クラスなどではクラブ活動はできますか。
- A. 全てのクラスでクラブ活動の参加を認めています。勉強とクラブ活動を両立している生徒も多数います。課外等で時間が制約されることもありますが精神力があれば十分やっていけます。

体に不自由をもつ受験者について

- Q. 体に視覚、聴覚障害など何らかの不自由がある場合、受験の際に特別の配慮をして頂けますか。
- A. 体の不自由等で受験の際に配慮が必要な場合は、事前に中学校校長名記入のうえ文書で詳しくお知らせ下さい。事情を検討の上、どのようにするか連絡します。

推薦入試について

Q. 推薦入試に必要な受験資格はありますか。

A.

今年度3月中学校卒業見込みの者。

出身学校長の推薦がある者。

3年間の欠席が30日以内となります。

※難関クラス・特進クラス・準特進クラス・進学クラスの推薦入試は実施しません。

※スポーツ推薦で特進クラスを志望する場合は評定3.6以上、準特進クラスを志望する場合は評定3.2以上、進学クラスを志望する場合は評定2.7以上となります。

その他、詳細は必ず[入試要項](#)でご確認ください。

Q. 推薦入試に合格したら必ず入学しなければなりませんか。

A. 推薦入試はすべて専願制であり、合格したら必ず入学していただくことになっています。

Q. 推薦入試で不合格になった場合、一般入試への再出願の手続きは必要ですか。

A. 推薦入試不合格者が一般入試を受験する場合は再度の出願手続及び受験料は不要です。本校から出身中学校に確認の上、受験票を送付します。

Q. 推薦入試の可否の判定はどのようにして行われるのですか。

A. 書類審査、面接、基礎体力テスト・専門実技テストで総合的に審査して判定します。本校の推薦入試は学力だけでなく、多方面からその能力や才能を重視して、本校への入学の意思が固い生徒を積極的に受け入れていきます。

Q. 面接はどのように行われるのですか。またどのようなことが聞かれるのですか。

A. 3～5人一組のグループで行われます。質問内容は、志望動機、中学時代の思い出、自分の長所・短所、部活動の状況、高校へ入ってからの抱負、将来の夢・目標、最近の出来事について思うことなどがあげられます。自分の意見や感想をはっきりと意思表示できるように努力して下さい。

その他

Q. 一般入試の合格点の目安を教えてくださいませんか。

A. その時の受験者数や平均点によって一概には言えませんが、得点の割合として、

難関クラス : 80%

S特進クラス : 75%

特進クラス : 60%

準特進クラス : 55%

進学クラス : 50%

トップアスリートクラス : 推薦入試のみ

Q. 調査書は入試でどの程度重視されるのですか。

A. 推薦入試・一般入試ともに可否の判定の資料にしますが、特に推薦では重視します。